


新ヒヤリハット報告

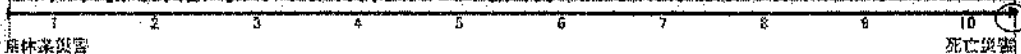
ヒヤリハットは災害の疑似体験というだけでなく災害に直面前にリカバリーした貴重な成長体験の一面もあります。あなたが過去1年間に経験したヒヤリハットをこれからの労働災害防止活動に役立てるため、ありのままを記入してください。

記入日: R5年 10月 7日

職種: 舗装工	経験年数: 30年
年齢: 40歳	

「ヒヤリハット」したこと

いつ(10)月頃	どこで(この現場,他の現場)	どのような場所で()	
どのような体験か(当てはまるものに1つ〇してください) 1 転倒しそうになった 2 転倒しそうになった 3 機械等に激突されそうになった 4 ものが落下してきた 5 ものがたおれかかってきた 6 自分からぶつかりそうになった 7 はさまれそうになった 8 切られそうになった 9 やけどしそうになった 10 感電しそうになった 11 交通事故になりそうだった 12 その他()			体験の状況図 (図は別紙記載でも可) 
「ヒヤリハット」の内容 どのような作業で アスファルト舗装工 何をしようとしていた時? 4Tろーらーで転圧作業中 どうなったか? 隣レーンのフィニッシャーの陰から作業員が急に出てきて接触しそうになった。			
発生原因(考えられるもの全てに〇してください) 1 設備・機械に問題があった 2 工具・保護具問題があった 3 現場の作業環境(騒音、照明、温度、換気など)に問題があった 4 作業方法に問題があった 5 遅延・連携ミスがあった 6 確認が不足していた 7 よく考えずに行動してしまった 8 考え事をしていた 9 よく見えなかった			



「ヒヤリハット」を防ぐ対策(このヒヤリハットを防ぐために、どのような対策が必要だと考えますか)

常に同匠の確認を行う、指差呼称の励行、その場にいる人員全員の声かけ

＜背後要因＞	そうだ	まあそうだ	ややもちう	もちう
非常にたくさんの仕事をしなければならなかった	1	2	3	4
時間内に仕事が処理しきれなかった	1	2	3	4
一生懸命働かなければならなかった	1	2	3	4

＜あなたの状態＞	ほとんどなかった	ときどきあった	しばしばあった	ほとんどいつもあった
ひどく疲れた	1	2	3	4
へとへとだ	1	2	3	4
だるい	1	2	3	4
気がはりつめている	1	2	3	4
不安だ	1	2	3	4
落ち着かない	1	2	3	4
ゆううつだ	1	2	3	4
何をやるのも面倒だ	1	2	3	4
気分が晴れない	1	2	3	4
食欲がない	1	2	3	4
よく眠れない	1	2	3	4

裏面にも記入してください

＜あなたの仕事について＞	そうだ	まあそうだ	ややもちがう	もちがう
自分のペースで仕事ができた	1	2	3	4
自分で仕事の順番・やり方を決めることができた	1	2	3	4
職場の仕事の方針に自分の意見を反映できた	1	2	3	4

＜あなたの周りの方々について＞	非常に	かなり	多少	全くない
次の人たちはどのくらい気軽に話ができますか				
上司	1	2	3	4
同僚	1	2	3	4
あなたが困ったとき、次の人たちはどのくらい頼りになりますか				
上司	1	2	3	4
同僚	1	2	3	4
あなたの個人的な問題を相談したら、次の人たちはどのくらい聞いてくれますか				
上司	1	2	3	4
同僚	1	2	3	4

＜あなたの仕事について＞	ほとんどなかった	ときどきあった	しばしばあった	ほとんどいつもあった
職場では、気持ちがはつらつとしている	1	2	3	4
自分の仕事に誇りを感じる	1	2	3	4
仕事に集中しているとき、幸せだと感じる	1	2	3	4

＜「ヒヤリハット」が事故や災害に至らなかった理由＞	全くなし	あまりなし	多少あり	非常にある
知識や経験を活かすことができた	1	2	3	4
体力があった(運動神経がよかった)	1	2	3	4
状況がいつもと違っていたため予測できた	1	2	3	4
何かが起こりそうな予感があった	1	2	3	4
周りに注意を払っていた	1	2	3	4
とっさの機転が利いた(知恵が働いた)	1	2	3	4
リーダーや仲間から声を掛けられた(とっさに注意された)	1	2	3	4
安全帯などの保護具に助けられた	1	2	3	4
警告ブザーなどの機械設備に助けられた	1	2	3	4
偶然に助けられた	1	2	3	4

あなたの「ヒヤリハット」が事故・災害にならずに直前で回避できたのは、なぜですか

＜例＞厚い石材をベビーサンダーで切断加工中、サンダーがはねて頭に当たりそうになったが、「サンダーがはねて危ない」と親方から教えられていたこともあり、体を斜めに構えていたため、ケガをせずに済んだ。

運が良かった、OPの視界に手元作業員が入った瞬間にプレーキが効いた。

とっさにOPの大きな声が出て作業員が気づいた。

「ヒヤリハット」が事故や災害にならず直前で回避するのに役立ったと思われる活動についてうかがいます
(当てはまる番号に1つ○)

1 過去のヒヤリハット体験	11 危険体感教育	21 リーダーや仲間とのコミュニケーション
2 同僚や先輩の話を	12 危険箇所見える化	22 懇親会・レクリエーション
3 安全衛生教育での講話	13 安全標識の設置	23 体操
4 現場での朝礼、宣誓	14 4S(整理・整頓・増掃・清潔)	24 安全表彰
5 現地ミーティング	15 避難訓練	25 バランスのよい食事
6 日々のKY活動	16 作業状況の監視	26 悩みを相談
7 危険予知訓練	17 周囲の状況把握	27 よい睡眠
8 リスクアセスメント	18 人への目配り	28 かつらげる休憩時間と場所
9 災害事例の周知	19 機械設備の点検	
10 現場パトロール	20 作業手順書の周知	

ご協力ありがとうございました

・この報告で回答された内容は、現場の災害防止のために役立てられます。

・この情報は、個人が特定されることのないよう厳正に取り扱われ、回答した個人の不利益につながることはありません。

・記入方法がわからない場合は、ヒヤリハットとりまとめ担当者まで連絡ください。

新ヒヤリハット報告

ヒヤリハットは災害の疑似体験というだけでなく、災害に至る前に力バリーした貴重な成功体験の一面もあります。あなたが過去1年間に体験したヒヤリハットをこれからの労働災害防止活動に役立てるため、ありのままを記入してください。 記入日: 25年 10月16日

職種: 区画線工 経験年数: 8年
 年齢: 39

「ヒヤリハット」したこと

いつ (10) 月 曜 日 どこで (この現場, 他の現場) どのような場所で ()

どのような体験か(当てはまるものに1つ〇してください)

1 座落しそうになった	5 ものが倒れかかってきた	9 やけどしそうになった
2 転倒しそうになった	6 自分からぶつかりそうになった	10 感電しそうになった
3 網絨等に衝突されそうになった	7 ぼさまれそうになった	⑪ 交通事故になりそうだった
4 ものが落下してきた	8 切られそうになった	12 その他()

体験の状況図
(図は別紙記載でも可)

「ヒヤリハット」の内容

接触事故

どのような作業で?

自動車運転中

何をしようとしていた時?

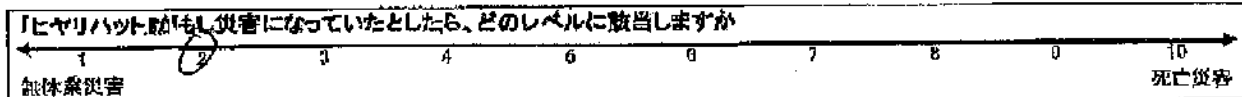
帰宅時、左折しようとした際、無灯火自転車と接触しそうになった

どうなったか?

と、その判断で回避できた

発生原因(考えられるもの全てに〇してください)

1 設備・機械に問題があった	5 連絡・連携ミスがあった
2 工具・保護具に問題があった	⑥ 確認が不足していた
3 現場の作業環境(騒音、照明、温度、換気など)に問題があった	7 よく考えずに行動してしまった
4 作業方法に問題があった	8 考え事をしていました
	⑨ よく見えなかった



「ヒヤリハット」を防ぐ対策(このヒヤリハットを防ぐために、どのような対策が必要だと考えますか)

余裕をもって行動し、焦らず運転する。0102運転の実施。

以下、当てはまる番号に1つ〇してください(各項目で選択肢が異なっているので、よく読んで回答してください)

<背後要因>	そうだ	まあそうだ	ややちがう	ちがう
非常にたくさんの仕事をしなければならなかった	1	2	3	④
時間内に仕事が処理出来なかった	1	2	3	④
一生懸命働かなければならなかった	1	2	3	④

<あなたの状態>	ほとんどなかった	ときどきあった	しばしばあった	ほとんどいつもあった
ひどく疲れた	1	②	3	4
へとへとした	1	②	3	4
だるい	①	2	3	4
気がはりつめている	①	2	3	4
不安だ	①	2	3	4
落ち着かない	①	2	3	4
ゆううつだ	①	2	3	4
何をやるのも面倒だ	①	2	3	4
気分が晴れない	①	2	3	4
食欲がない	①	2	3	4
よく眠れない	①	2	3	4

裏面にも記入してください

＜あなたの仕事について＞	そうだ	まあそうだ	ややまあ	もちろ
自分のペースで仕事できた	1	2	3	4
自分で仕事の順番・やり方を決めることができた	1	2	3	4
職場の仕事の方針に自分の意見を反映できた	1	2	3	4

＜あなたの周りの方々について＞	非常に	かなり	多少	全くない
次の人たちはどのくらい気軽に話ができますか				
上司	1	2	3	4
同僚	1	2	3	4
あなたが困った時、次の人たちはどのくらい助けてくれますか				
上司	1	2	3	4
同僚	1	2	3	4
あなたの個人的な問題を相談したら、次の人たちはどのくらい聞いてくれますか				
上司	1	2	3	4
同僚	1	2	3	4

＜あなたの仕事について＞	ほとんどなかった	ときどきあった	しばしばあった	ほとんどいつも
職場では、気持ちがほつらつとしている	1	2	3	4
自分の仕事に誇りを感じる	1	2	3	4
仕事に集中しているとき、幸せだと感じる	1	2	3	4

＜「ヒヤリハット」が事故や災害に至らなかった理由＞	全くなし	あまりなし	多少あり	非常にある
知識や経験を活かすことができた	1	2	3	4
体力があった(運動神経がよかった)	1	2	3	4
状況がいつもと違っていたため予測できた	1	2	3	4
何かが起こりそうな予感があった	1	2	3	4
周りに注意を払っていた	1	2	3	4
とっさの機転が利いた(知識が働いた)	1	2	3	4
リーダーや仲間から声を掛けられた(とっさに注意された)	1	2	3	4
安全帯などの保護具に助けられた	1	2	3	4
警告ブザーなどの機械設備に助けられた	1	2	3	4
偶然に助けられた	1	2	3	4

あなたの「ヒヤリハット」が事故・災害にならずに直前で回避できたのは、なぜですか
 (例) 厚い石材をベビーサンダーで切断加工中、サンダーがはねて顔に当たりそうになったが、「サンダーははねて危ない」と親方から教えられていたこともあり、体を斜めに構えていたため、ケガをせずに済んだ。

「ヒヤリハット」が事故や災害にならず直前で回避するのに役立つと思われる活動についてうかがいます
 (当てはまる番号に○)

1 過去のヒヤリハット体験	11 危険体感教育	21 リーダーや仲間とのコミュニケーション
2 同僚や先輩の話	12 危険箇所の見える化	22 懇親会・レクリエーション
3 安全衛生教育での講話	13 安全機械の設置	23 体操
4 現場での朝礼・夕礼	14 4S(整理・整頓・清掃・清拭)	24 安全表彰
5 現地ミーティング	15 避難訓練	25 バランスのよい食事
6 日々のKY活動	16 作業状況の監視	26 悩みを相談
7 危険予知訓練	17 周囲の状況把握	27 よい睡眠
8 リスクアセスメント	18 人への目配り	28 かつらげる休憩時間と場所
9 災害事例の周知	19 機械設備の点検	
10 現場パトロール	20 作業手順書の周知	

ご協力ありがとうございました。

・この報告で回答された内容は、現場の災害防止のために役立てられます。
 ・この情報は、個人が特定されることのないよう修正に取り扱われ、回答した個人の不利益につながることはありません。
 ・記入方法がわからない場合は、ヒヤリハットとりまとめ担当者までご連絡ください。
 ・後日、この報告に関するヒアリングに協力いただける方は、所属・氏名、連絡先をお知らせください。
 所属・氏名 _____ 連絡先 _____

新ヒヤリハット報告

ヒヤリハットは災害の疑似体験というだけでなく、災害に至る前にリカバリーした貴重な成功体験の一面もあります。あなたが過去1年間に体験したヒヤリハットをこれからの労働災害防止活動に役立てるため、ありのままを記入してください。 記入日: R5年10月16日

職種: <u>ワーカー</u>	経験年数: <u>2年</u>
年齢: <u>25</u>	

「ヒヤリハット」したこと

いつ: <u>9</u> 月頃	どこで(この現場、他の現場)	どのような場所で(視察内通路)
どのような体験か(当てはまるものに1つOしてください)		
1 墜落しそうになった ② 転倒しそうになった 3 機械等に激突されそうになった 4 ものが落下してきた	5 ものが倒れかかってきた 6 自分からぶつかりそうになった 7 はさまれそうになった 8 切られそうになった	9 やけどしそうになった 10 感電しそうになった 11 交通事故になりそうだった 12 その他()
体験の状況図 (図は別紙記載でも可)		
「ヒヤリハット」の内容 どのような作業で? <u>ワーカー作業でアスファルトの断片を削っていた際、</u> 何をしようとしていた時? <u>の交換しようとして、トラックの方向に歩いていたら</u> どうなったか? <u>ホースにつまづき車転倒しそうになった</u>		
発生原因(考えられるもの全てにOしてください)		
1 設備・機械に問題があった 2 工具・保護具に問題があった 3 現場の作業環境(騒音、照明、温度、換気など)に問題があった ④ 作業方法に問題があった	5 急務・運務ミスがあった 6 確認が不足していた 7 よく考えずに行動してしまった 8 考え事をしていた 9 よく見えなかった	

「ヒヤリハット」がもし災害になっていたとしたら、どのレベルに該当しますか

←	1	2	③	4	5	6	7	8	9	10 →
	無休業災害									死亡災害

「ヒヤリハット」を防ぐ対策(このヒヤリハットを防ぐために、どのような対策が必要だと考えますか)

整理整頓を行う作業する、

以下、当てはまる番号に1つOしてください(各項目で選択肢が異なるので、よく読んで回答してください)

<背景要因>	そうだ	まあそうだ	ややちがう	ちがう
非常にたくさんの仕事をしなければならなかった	1	2	③	4
時間内に仕事が処理しきれなかった	1	2	③	4
一生懸命働かなければならなかった	①	2	3	4

<あなたの状態>	ほとんどなかった	ときどきあった	しばしばあった	ほとんどいつもあった
ひどく疲れた	1	②	3	4
へとへとだ	1	②	3	4
だるい	1	②	3	4
気がはりつめている	1	②	3	4
不安だ	1	②	3	4
落ち着かない	1	②	3	4
ゆううつだ	1	②	3	4
何をしても面倒だ	1	②	3	4
気分が晴れない	1	②	3	4
食欲がない	1	②	3	4
よく眠れない	1	②	3	4

裏面にも記入してください

<あなたの仕事について>	そうだ	まあそうだ	ややちがら	ちがら
自分のペースで仕事ができた	1	2	3	4
自分で仕事の順番・やり方を決めることができた	1	2	3	4
職場の仕事の方針に自分の意見を反映できた	1	2	3	4

<あなたの周りの方々について>	非常に	かなり	多少	全くない
次の人たちはどのくらい気軽に話ができますか				
上司	1	2	3	4
同僚	1	2	3	4
あなたが困った時、次の人たちはどのくらい頼りになりますか				
上司	1	2	3	4
同僚	1	2	3	4
あなたの個人的な問題を相談したら、次の人たちはどのくらい聞いてくれますか				
上司	1	2	3	4
同僚	1	2	3	4

<あなたの仕事について>	ほとんどなかった	ときどきあった	しばしばあった	ほとんどいつもあった
職場では、気持ちがはたつたとしている	1	2	3	4
自分の仕事に誇りを感じる	1	2	3	4
仕事に集中しているとき、暇せだと感じる	1	2	3	4

<「ヒヤリハット」が事故や災害に至らなかった理由>	全くなし	あまりなし	多少あり	非常に多い
知識や経験を活かすことができた	1	2	3	4
体力があった(運動神経がよかった)	1	2	3	4
状況がいつもと違っていたため予測できた	1	2	3	4
何かが起こりそうな予感がした	1	2	3	4
周りに注意を払っていた	1	2	3	4
とっさの機転が利いた(知恵が働いた)	1	2	3	4
リーダーや仲間から声を掛けられた(とっさに注意された)	1	2	3	4
安全帯などの保護具に助けられた	1	2	3	4
警告ブザーなどの機械設備に助けられた	1	2	3	4
偶然に助けられた	1	2	3	4

あなたの「ヒヤリハット」が事故・災害にならずに直前で回避できたのは、なぜですか

<例>重い石材をベビーサンダーで切断加工中、サンダーがはねて頭に当たりそうになったが、「サンダーははねて危ない」と親方から教えられていたこともあり、体を斜めに構えていたため、ケガをせずに済んだ。

「ヒヤリハット」が事故や災害にならず直前で回避するのに役立ったと思われる活動についてうかがいます
(当てはまる番号に1つ〇)

1 過去のヒヤリハット体験	11 危険体感教育	21 リーダーや仲間とのコミュニケーション
2 同僚や先輩の話	12 危険箇所の見える化	22 懇親会・レクリエーション
3 安全衛生教育での講話	13 安全標識の設置	23 体操
4 現場での朝礼、夕礼	14 4S(整理・整頓・清掃・清潔)	24 安全表彰
5 現地モーティング	15 避難訓練	25 バランスのよい食事
6 日々のKY活動	16 作業状況の監視	26 悩みを相談
7 危険予知訓練	17 周囲の状況把握	27 よい睡眠
8 リスクアセスメント	18 人への目配り	28 くるるげる休憩時間と場所
9 災害事例の周知	19 機械設備の点検	
10 現場パトロール	20 作業手順書の周知	

ご協力ありがとうございました。

- ・この報告で回答された内容は、現場の災害防止のために役立てられます。
 - ・この情報は、個人が特定されることのないよう厳正に取り扱われ、関係した個人の不利益につながることはありません。
 - ・記入方法がわからない場合は、ヒヤリハットとりまとめ担当者まで連絡ください。
 - ・後日、この報告に関するヒアリングに協力いただける方は、所属・氏名、連絡先をお知らせください。
- 所属・氏名 連絡先

新ヒヤリハット報告

ヒヤリハットは災害の疑似体験というだけでなく、災害に至る前にリカバーした貴重な成功体験の一面もあります。あなたが過去1年間に体験したヒヤリハットをこれからの労働災害防止活動に役立てるため、ありのままを記入してください。 記入日: 年 月 日

職種: 警保	経年数: 1年10月
年齢: 23	

「ヒヤリハット」したこと

いつ (/) 月頃 どこで (この現場, 他の現場) どのような場所で ()

どのような体験か (当てはまるものに1つ○してください)			体験の状況図 (図は別紙記載でも可)
1 墜落しそうになった	5 ものが倒れかかってきた	9 やけどしそうになった	
2 転倒しそうになった	6 自分からぶつかりそうになった	10 感電しそうになった	
3 爆発等に巻き込まれそうになった	7 はさまれそうになった	<input checked="" type="checkbox"/> 11 交通事故になりそうだった	
4 ものが落下してきた	8 切られそうになった	<input checked="" type="checkbox"/> 12 その他 ()	

「ヒヤリハット」の内容

通勤中、車道に一時停止を指示した自乗車をホカッソウになった。
どのような作業で?

車道で運転中、何をしようとしていた時?

通勤
どうなったか?

急ブレーキに引、車道に止まらされた。

発生原因 (考えられるもの全てに○してください)

1 設備・機械に問題があった	5 連絡・連携ミスがあった
2 工具・保護具に問題があった	6 確認が不足していた
3 現場の作業環境(騒音、照明、風気、換気など)に問題があった	7 よく考えずに行動してしまっ
4 作業方法に問題があった	8 考え事をしていた
	<input checked="" type="checkbox"/> 9 よく見えなかった

「ヒヤリハット」がもし災害になっていたとしたら、どのレベルに該当しますか

← 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 →

無体業災害 死亡災害

6

「ヒヤリハット」を防ぐ対策(このヒヤリハットを防ぐために、どのような対策が必要だと考えますか)

交差点に進入する際は車道のストロップを踏む。
脇線のある場所でも油断せずに通行する。

以下、当てはまる番号に1つ○してください(各項目で選択肢が異なるので、よく読んで回答してください)

＜背後要因＞	そうだ	まあそうだ	ややちがう	ちがう
非常にたくさん仕事をしなければならなかった	1	2	<input checked="" type="checkbox"/> 3	4
時間内に仕事が処理されなかった	1	2	3	<input checked="" type="checkbox"/> 4
一生懸命働かなければならなかった	1	<input checked="" type="checkbox"/> 2	3	4

＜あなたの状態＞	ほとんどなかった	ときどきあった	しばしばあった	頻りにあった
ひどく疲れた	1	<input checked="" type="checkbox"/> 2	3	4
へどへどだ	1	<input checked="" type="checkbox"/> 2	3	4
だるい	1	<input checked="" type="checkbox"/> 2	3	4
気がはりつめている	1	2	<input checked="" type="checkbox"/> 3	4
不安だ	1	<input checked="" type="checkbox"/> 2	3	4
落ち着かない	1	2	<input checked="" type="checkbox"/> 3	4
ゆううつだ	1	<input checked="" type="checkbox"/> 2	3	4
何をしても面倒だ	1	<input checked="" type="checkbox"/> 2	3	4
気分が晴れない	1	<input checked="" type="checkbox"/> 2	3	4
意欲がない	1	2	<input checked="" type="checkbox"/> 3	4
よく眠れない	1	2	<input checked="" type="checkbox"/> 3	4

裏面にも記入してください

<あなたの仕事について>	そうだ	まあそうだ	ややちがら	ちがら
自分のペースで仕事ができた	1	2	3	4
自分で仕事の順番・やり方を決めることができた	1	2	3	4
現場の仕事の方針に自分の意見を反映できた	1	2	3	4

<あなたの周りの方々について>	非常に	かなり	多少	全くない
次の人たちはどのくらい気軽に話ができますか				
上司	1	2	3	4
同僚	1	2	3	4
あなたが困った時、次の人たちはどのくらい頼りになりますか				
上司	1	2	3	4
同僚	1	2	3	4
あなたの個人的な問題を相談したら、次の人たちはどのくらい聞いてくれますか				
上司	1	2	3	4
同僚	1	2	3	4

<あなたの仕事について>	ほとんどなかった	ときどきあった	しばしばあった	ほとんどいつもあった
職場では、気持ちが高ぶらつとしている	1	2	3	4
自分の仕事に誇りを感じる	1	2	3	4
仕事に集中しているとき、暇せだと感じる	1	2	3	4

<「ヒヤリハット」が事故や災害に至らなかった理由>	全くなし	あまりなし	多少あり	非常に多い
知識や経験を活かすことができた	1	2	3	4
体力があった(運動神経がよかった)	1	2	3	4
状況がいつもと違っていたため予測できた	1	2	3	4
何かが起こりそうな予感があった	1	2	3	4
周りに注意を払っていた	1	2	3	4
とっさの機転が利いた(知恵が働いた)	1	2	3	4
リーダーや仲間から声を掛けられた(とっさに注意された)	1	2	3	4
安全帯などの保護具に助けられた	1	2	3	4
警音ブザーなどの機械設備に助けられた	1	2	3	4
偶然に助けられた	1	2	3	4

あなたの「ヒヤリハット」が事故・災害にならずに直前で回避できたのは、なぜですか

<例> 重い石材をペビオンサンダーで切断加工中、サンダーがはねて頭に当たりそうになったが、「サンダーははねて危ない」と親方から教えられていたこともあり、体を斜めに構えていたため、ケガをせずに済んだ。

前戸に注意して運転していた為。

「ヒヤリハット」が事故や災害にならず直前で回避するのに役立つと思われる活動についてうかがいます
(当てはまる番号に1つ〇)

1 過去のヒヤリハット体験	11 危険体感教育	21 リーダーや仲間とのコミュニケーション
2 同僚や先輩の話	12 危険箇所の見える化	22 懇親会・レクリエーション
3 安全衛生教育での講話	13 安全標識の設置	23 体操
4 現場での朝礼、夕礼	14 4S(整理・整頓・清掃・清潔)	24 安全表彰
5 現地ミーティング	15 避難訓練	25 バランスのよい食事
6 日々のKY活動	16 作業状況の監視	26 悩みを相談
7 危険予知訓練	17 周囲の状況把握	27 よい睡眠
8 リスクアセスメント	18 人への目配り	28 くつろげる休憩時間と場所
9 災害事例の周知	19 機械設備の点検	
10 窮乏パトロール	20 作業手順書の周知	

ご協力ありがとうございました。

- ・この報告で回答された内容は、現場の災害防止のために役立てられます。
- ・この情報は、個人が特定されることのないよう厳正に取り扱われ、回答した個人の不利益につながることはありません。
- ・記入方法がわからない場合は、ヒヤリハットとりまとめ担当まで連絡ください。
- ・後日、この報告に関するヒヤリングに協力いただける方は、所属・氏名、連絡先をお知らせください。

所属・氏名

連絡先